WEBアンケート　結果報告書

福岡県こどもまんなかポータルサイト



令和8年7月

WEBアンケート　実施概要

実施期間	令和7年10月17日～令和8年1月31日
実施方法	福岡県こどもまんなかポータルサイト
回答者	小学生、中学生、高校生、若者（18～29歳）、保護者
趣旨	令和5年4月に施行されたこども基本法において、こども施策についてこどもや子育て当事者の意見を尊重することとされています。そこで福岡県では県のこども施策の改善に活用するため、県民の皆さんからの意見を聞くアンケートを実施しました。
調査項目	1. こどもホスピスについて 2. 薬物乱用防止対策について 3. 環境対策について 4. 農林漁業体験の推進について 5. 食育・地産地消県民運動について 6. 家庭と連携した食育について 7. 成長段階に応じた体験活動の提供について 8. グローバル人財の育成について 9. 子育て支援型改善工事について 10. 無業の若者に対する職業的自立支援について

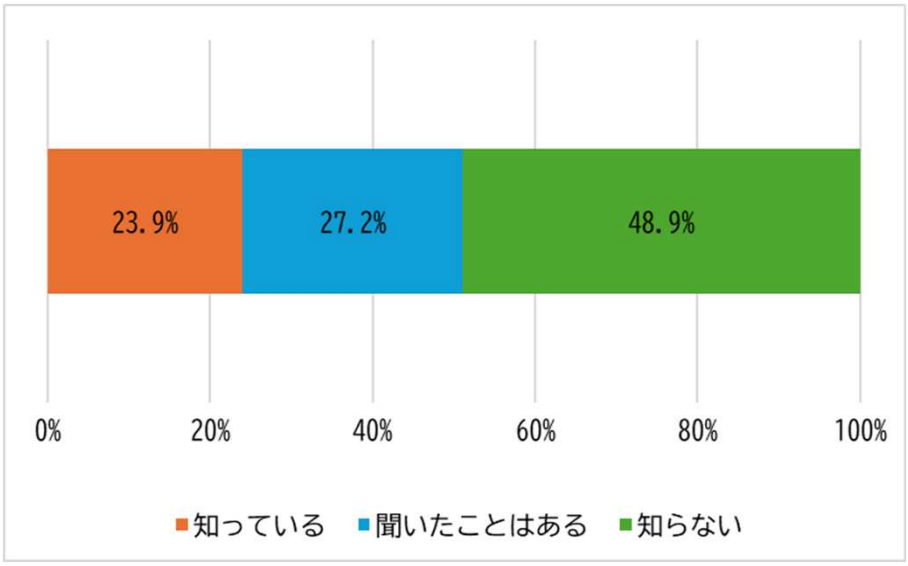


こどもホスピスについて

質問

・生命に関わる病気（LTC）と闘うお子さんとそのご家族に対して、QOLの向上、家族宿泊といった体験を提供することを目的とした取組（こどもホスピス）についてご存知ですか？

回答結果



・こどもホスピスの認知度は「知っている」「聞いたことはある」と「知らない」の割合が半分ずつに分かれています。
・また、「知っている」人の割合よりも「聞いたことがある」人の割合の方が大きく、取組内容まで深く認知している層は限定的と思われます。

取組

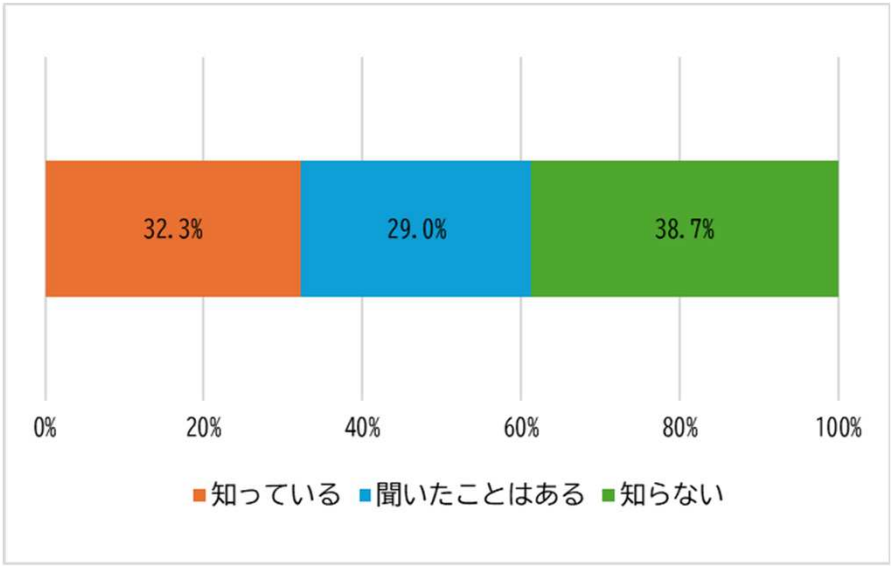
・こどもホスピスの利用者である県民や寄付等の協力を求める主体となる企業等に、広く認知・理解していただくため、こどもホスピスの概要等を記載したリーフレット等を制作し配布していきます。

薬物乱用防止対策について

質問

・もし薬物に関する悩みや困りごとがあった時に、相談できる窓口があることを知っていますか？

回答結果



・相談窓口の存在を「知っている」保護者は約３２％に留まっています。
・「知らない」と回答した層が約３９％と最多であり、認知不足が顕著です。

取組

・学校で実施される薬物乱用防止教室で、相談窓口を記載した薬物乱用防止啓発リーフレットを活用して生徒に周知するよう、学校関係者や外部講師となる関係団体に依頼していきます。
・ＰＴＡ指導者研修会等で、相談窓口を記載した薬物乱用防止啓発リーフレットを配布し、周知をしていきます。

環境対策について

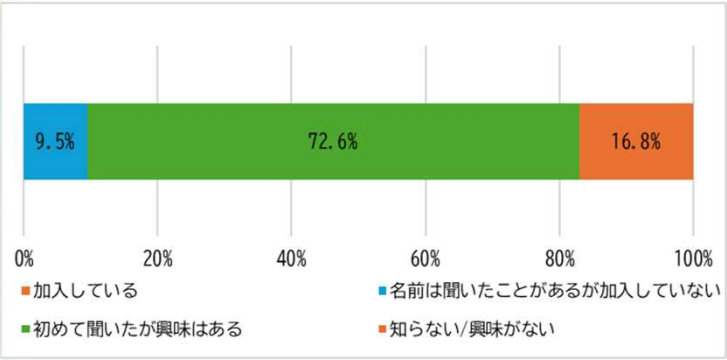
質問

① 福岡県が推進している「こどもエコクラブ」をご存知ですか？

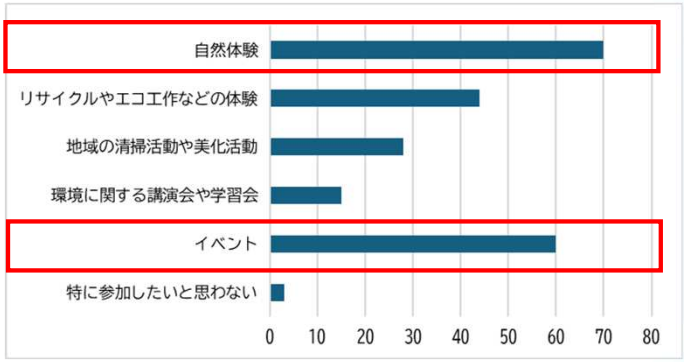
② 環境問題や地域の環境を守る大切さを学ぶ活動について、どんな内容だと参加してみたいと思いますか？

回答結果

①



②



・認知度は低いものの、「こどもエコクラブ」に興味を持っている人が多いことが分かります。

・参加したい活動内容については「自然体験」や「イベント」が多く支持を集めています。

取組

・こどもたちが身近な地域で環境活動を自主的に行う「こどもエコクラブ」の加入数は全国で2番目に多く、各クラブで積極的な活動が行われています。今後も引き続き「こどもエコクラブ」の周知に力を入れるとともに、環境問題や地域の環境を守る大切さを学ぶ活動については、地域環境協議会の中でも共有し、内容について検討していきます。

農林漁業体験について

質問

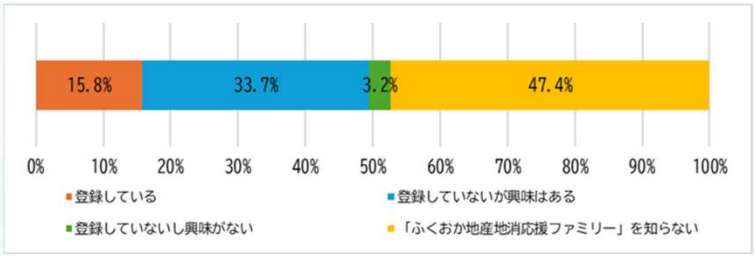
① 「ふくおか地産地消応援ファミリー」に登録していますか？

② 農林漁業の体験活動に参加したことはありますか？

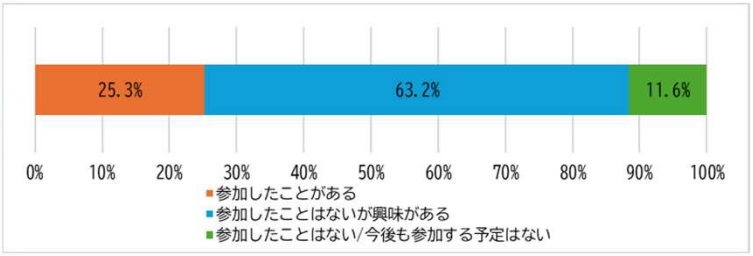
③ 農林漁業体験に参加できるとしたら、どんな体験をしてみたいですか？

回答結果

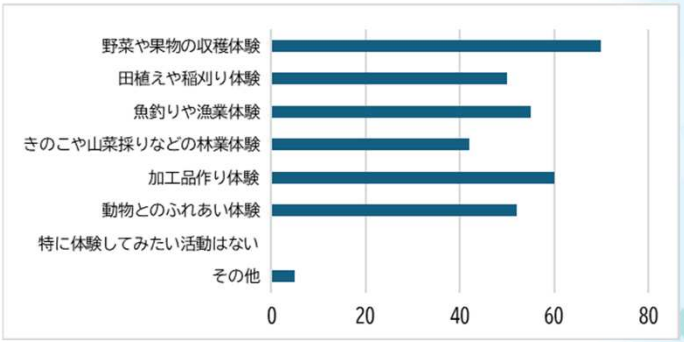
①



②



③



・「ふくおか地産地消応援ファミリー」の認知度については、「登録している」「興味がある」人の割合が半数以下と、事業の周知に課題がある状況です。

・農林漁業体験については、参加したことはないものの、幅広い範囲で高い関心があることが分かります。

取組

・県産農林産物が当たるプレゼントキャンペーンの実施や食育・地産地消月間キックオフイベントなどの各種イベントにおけるブース設置の取組による周知を行っております。

・一方で周知が不十分という結果を踏まえ、R8 年度からはこれに加えて広報誌などのメディアを使った周知を検討します。

・今後も、農林漁業すべてにおいて体験ツアーを実施してまいります。

食育・地産地消県民運動について

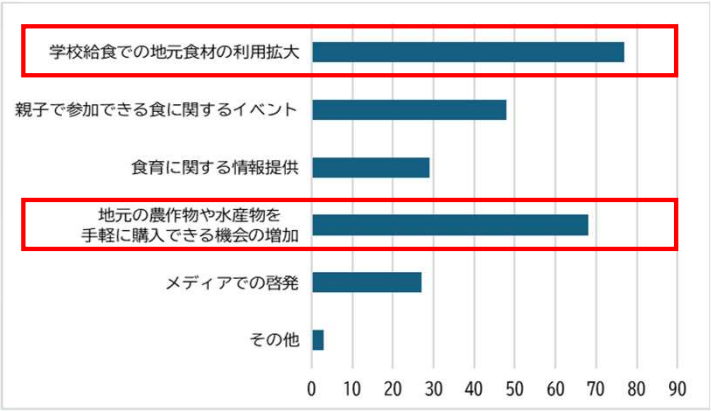
質問

① 食べることの大切さや、地元の食材を応援する「食育」や「地産地消」を進めるために、どんなことが必要だと思いますか？

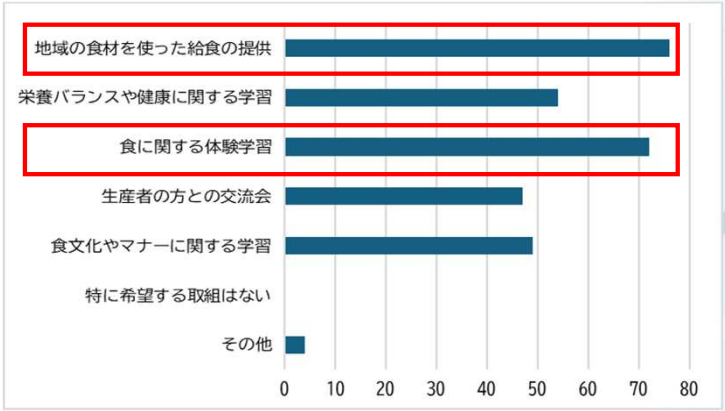
② お子さんが通う小中学校で、食育に関する取組について、特にどんなことを行ってほしいですか？

回答結果

①



②



・学校給食での地元食材利用や、食に関する体験型学習への期待が集中しています。

取組

・学校給食における地元食材の利用促進のため、県産米を導入する小中学校等に奨励金を交付しています。

・また、県産農林水産物の調達システム開発や、県産ブランド農林水産物の学校給食への提供といった新たな取組を進めていきます。

・今後も生産者等を派遣する食育出前講座や、調理実習での県産柿の皮むき体験などを継続実施し、学校での実践的な食育と地産地消を支援していきます。

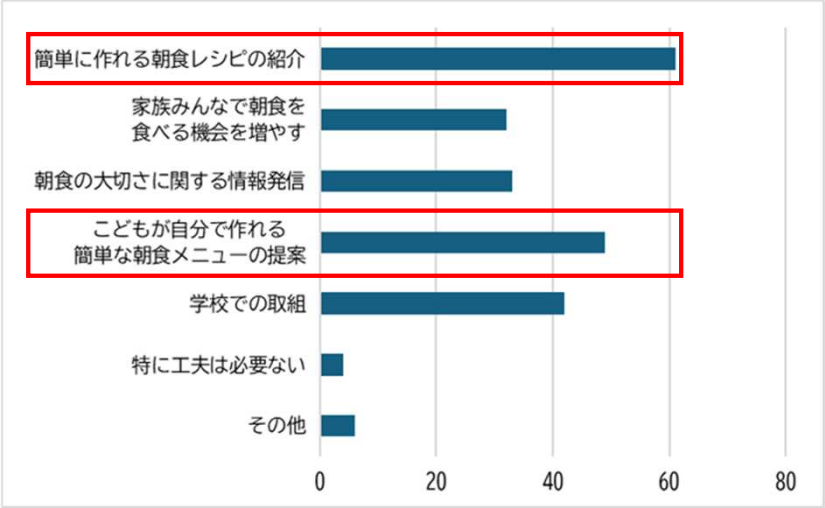
福岡県
県民スローガン
福 いただきます！
福岡のおいしい幸せ

家庭と連携した食育について

質問

・お子さんが毎日朝食を食べる習慣を身につけるために、どんな工夫ができると思いますか？

回答結果



・「簡単に作れる朝食レシピの紹介」が最多であり、忙しい朝の負担軽減が最も求められています。

・「こどもが自分で作れるメニューの提案」が次いで多く、こども自身の自立を促す方向性も重視されています

取組

・学校の先生方を対象とした研修会で、こどもが生活に役に立つ学習に対して興味・関心が高いことや、こどもも大人も簡単に作れる朝食レシピを紹介してほしいことを伝えていきます。

・朝食を食べるよさをまとめた「朝食いきいきシート」を県のホームページで紹介しています。

・食に関するイベントで簡単レシピについて紹介していきます。

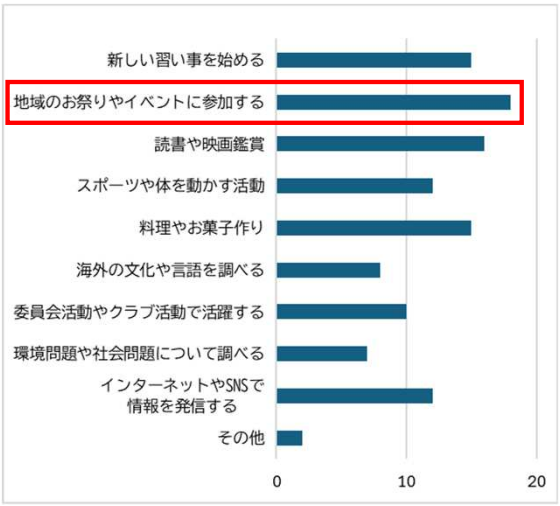
成長段階に応じた体験活動の提供について

質問

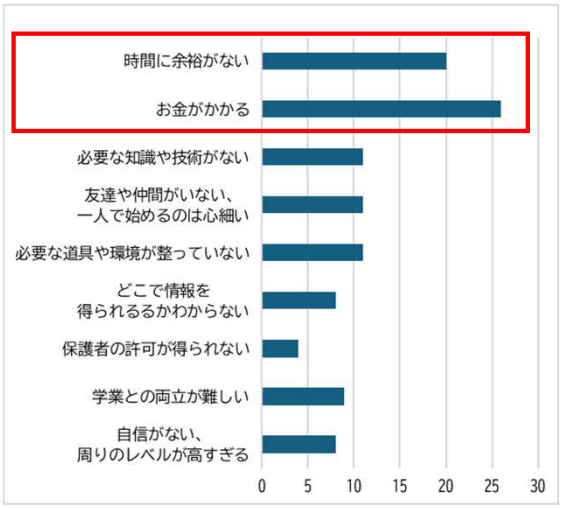
①学校生活や日常生活の中で、「興味関心のあること」や「挑戦してみたいこと」をお聞かせください。
②「面白い」「やってみたい」と思うことについて、まだできていないこと、できていない理由を教えてください
③「挑戦してみたいこと」を実現するために、何があればできるようになると思いますか？

回答結果

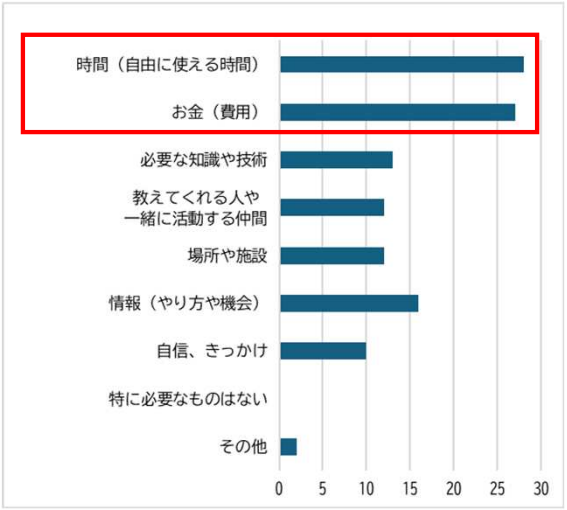
①



②



③



・「地域のお祭りやイベント」など、身近な地域活動や文化的な体験への関心が高いです。

・挑戦を実現するために必要なものとして、「時間」と「お金」が突出して多く挙げられています。

取組

・県では、例年、「ふくおかなつやすみチャレンジフェスタ」を実施しています。夏休み期間中（平日）毎日体験企画を実施しており、工作体験や文化芸術体験等多種多様なプログラムに気軽に参加できます。

・今後も、こどもたちがなるべく時間とお金をかけずにやりたいことができる機会の提供に努めてまいります。

グローバル人財の育成について

質問

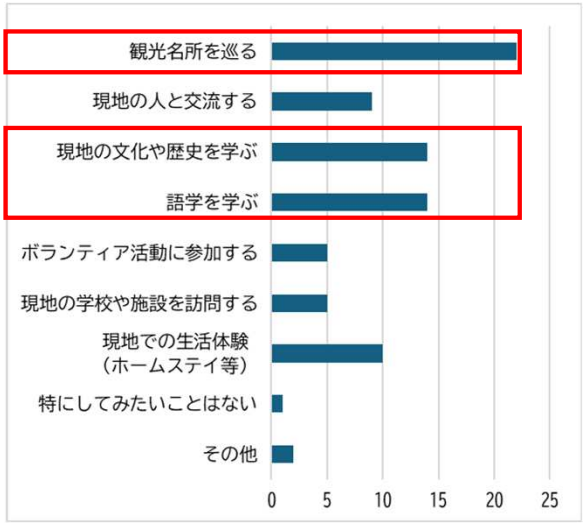
① もし外国に行けるとしたらどんなことをしてみたいですか？

② もし、海外に行くとしたら、どんなことが心配ですか？

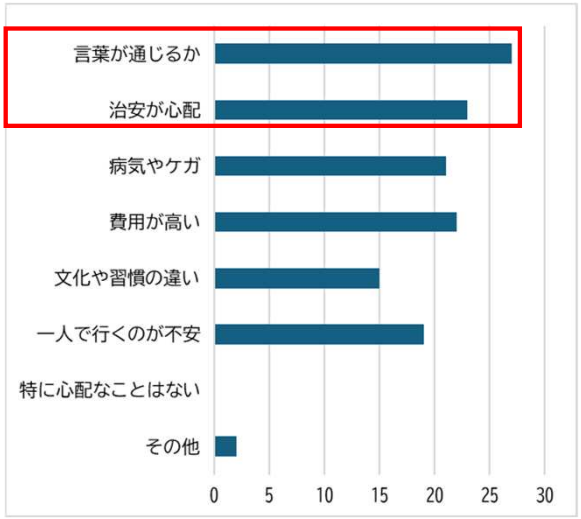
③ もし外国に行くとしたら、どんなサポートがあれば安心して行けると思いますか？

回答結果

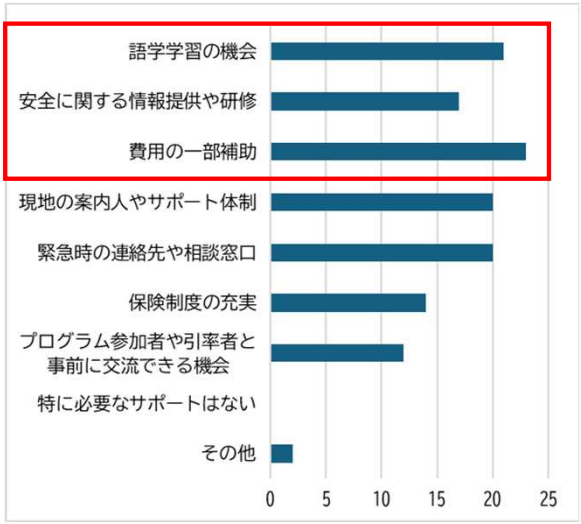
①



②



③



・「観光」が最多ですが、「語学」「文化・歴史」など、学びや交流を目的とした活動への関心も高くニーズがあります。

・海外渡航への懸念として「言葉」「治安」「費用」の3点が多く、これらが主要な障壁となっています。

取組

・小学生・中学生向けの「はじめての海外体験事業」は、現地の文化・歴史に触れるツアーやワークショップ、現地交流を通じて学びと交流を提供します。

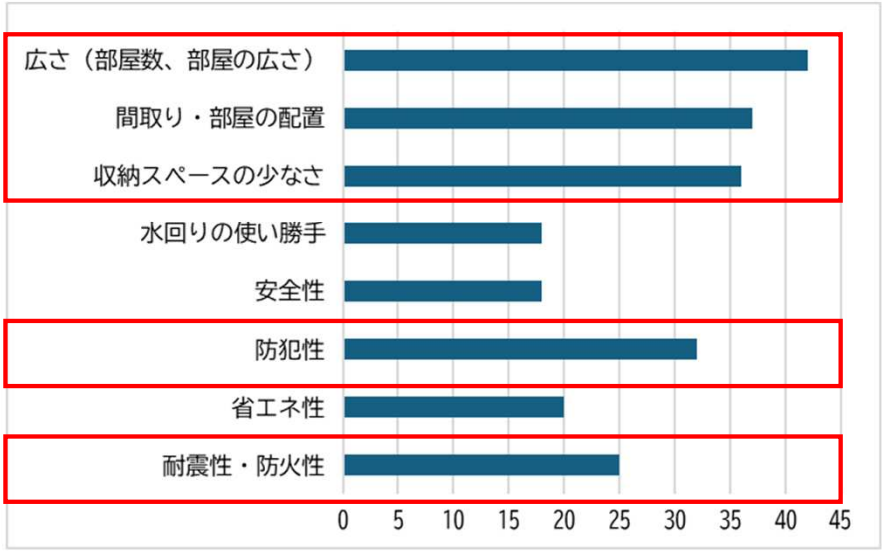
・安全面では治安の良い国を選定し、費用面では家計に配慮した参加費を設定します。また、出発前の語学レッスンや文化学習で言語の壁を解消し、参加者が安心して海外研修に臨めるプログラムを提供します。

子育て支援型改善工事について

質問

・今の住まいに関して、子育てがしやすいように改善したい点はありますか？

回答結果



「広さ」や「部屋」などの空間不足の解消と、防犯や耐震など家族を守る住宅性能が子育て世帯から求められています。

取組

・県営住宅では、子育て世帯に配慮した３点給湯の設置や浴槽改修といったリフォーム工事を実施しています。

・近年の住宅価格の高騰により、新築よりも中古の方が価格の点で広い住宅を取得しやすい状況があります。そのため、子育て世帯が中古住宅を取得しやすくなるよう、中古住宅の売買時に行う建物状況調査（住まいの健康診断）の検査費用の軽減や、購入後に行うリノベーション工事費用に対する補助金（福岡県こどもリノベ補助金）による支援を進めていきます。

無業の若者に対する職業的自立支援について

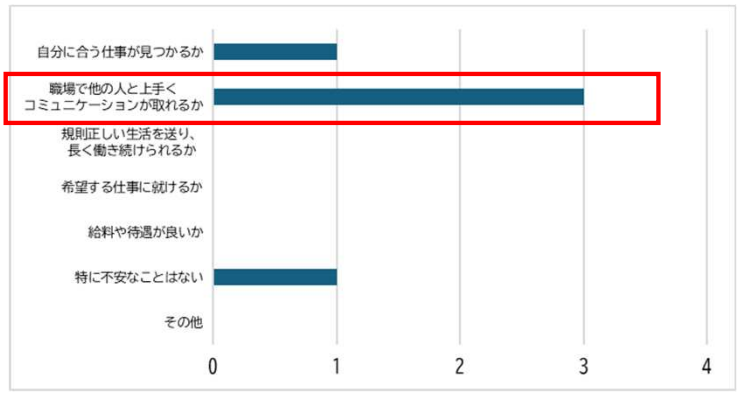
質問

① 「働くこと」について、あなたが最も不安に感じることは何ですか？

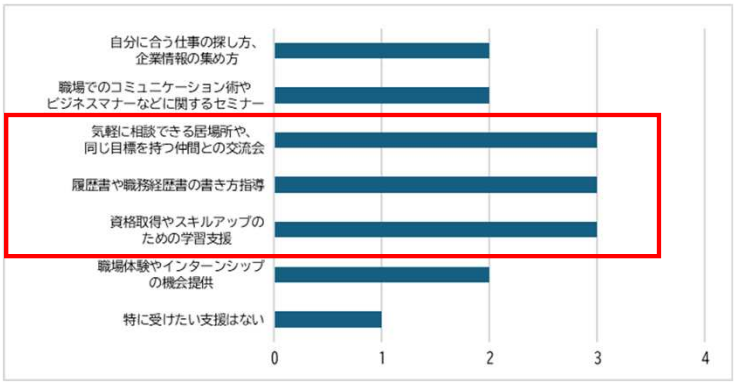
② 「働くこと」に向けて、あなたはどのような支援を受けたいですか？

回答結果

①



②



・働くことへの不安は、コミュニケーション能力に関するものが最も多い一方、履歴書作成や資格取得などの実務スキルと、気軽に相談できる居場所や仲間といった精神的サポートへのニーズが高いです。

取組

・若者サポートステーションでは、個別相談やビジネスマナーやコミュニケーションスキルを学ぶ交流会、履歴書作成やPCスキル習得のための基礎能力習得講座を実施しています。

・就職に不安を持つ若者が支援を受けることができるよう、引き続き利用促進を図ってまいります。



さいごに

福岡県のこども施策についてのアンケートに
ご協力いただき、ありがとうございました。

いただいた意見は県庁内担当課に共有し、
福岡県こども施策の改善に活用させていただきます。

